

令和7年4月7日 朝礼  
施設長 柳川右千夫

## 一羊館の理念、行動指針の再確認

### 老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

(目標)

- 1：社会貢献（地域貢献）として、介護難民（介護の難しい方）を引き受ける。
- 2：介護難民の引き受けには、相当のレベル（「超強化型」）が必要であり、レベル向上を目指す（個人として、組織として）。

実際に、例として、

- ・経管栄養や尿道カテーテル留置の方が、それらから解放され、自力で食事摂取できるようになったり、自尿がでるようになったりする。
- ・入所時不穏を示していた方が、落ち着いて生活やリハビリをするようになる。
- ・関節痛のあった方が、リハビリなどで疼痛軽減し、解熱鎮痛剤の減量、不要になる。
- ・糖尿病の方が、血糖のコントロールが良くなり、治療薬の減量、不要になる。
- ・新たな栄養管理（腸瘻）にチャレンジしている。

最後に、

今年になり、4名の方が新しいメンバーとして加わっていただきました。最初は覚えたり慣れたりするのに大変と思います。しかし、少し慣れましたら、喀痰吸引など学べるものは食欲に学んでください。教える方は、教えることでスキルアップになります。

それから、今年、キャリアアップ（正看護師、介護福祉士、ケアマネジャー）された方、おめでとうございます。これは、個人と一羊館双方のレベルアップにもつながります。皆さんにもどんどんチャレンジしていただければと思います。よろしくお願いします。

